



起業3年目までの
必要な知識が
10時間で学べる
オウンドビジネス大百科

オウンドビジネスの地図
～ 個人投資家編 ～

Part 5



玉井　：別に、彼ら叩いても仕方ないんで、なくなるわけがないから。だから、どっちかというところ消費者的リテラシーを問題にしたいんで、ほんとにズーッと喋ってきたけど。ツールが、バイナリーが、未公開株が、マルチが、ICOが、とかさ、色んなワードを、全部世間のイメージだけで判断する人たち、っていうのがいっぱいいて。やっぱりその根本には、日本人が世界と比べたときに、例えば世界の先進国と比べたときに、極端に金融リテラシーが低い、お金とか投資とかに対する考え方のレベルがまじで低いってのがあって。

伊藤　：意味わからんくらい低いですからね。ある意味それって、洗脳みたいなもんですよ。

玉井　：そう。過激な言い方するけど。でも、普通に洗脳やから。元たどっていったら、日本人の働き方とかお金に対する価値観って、中国から来てる儒教的な発想と、アメリカから来てるキリスト教的価値観の悪いところが混ざってたものみたいな。で、そのパラダイムで多くの日本人は生きてるから、やっぱりそこを自分で変えないと豊かになるって難しいと思うし。ってちょっとそもそも論すぎるけど、まあ言ったら、リテラシーが低くしてくれたほうが得する人たちがいるわけさ、国民に金融の知識をつけられると困る人達がいっぱいいるわけやん。誰とは言わんけど。

伊藤　：そうですね。

玉井　：例えば、さっきのはさ、明らかに怪しい金融庁の許可もない組織とかやったけど。例えば、銀行は安心安全みたいな、プロなんやから言う事聞いといたら大丈夫みたいな。ほんで窓口でさ、投資のトの字も知らんお姉ちゃんに投資信託の営業されてさ。みんなホイホイそこにお金預けるわけやん。めちゃくちゃな手数料払って。

伊藤　：やばいっすからね(笑)

玉井　：預金残高見てこいつ金持ってるなって思ったらしつこく営業してくるみたいになってさ。怖すぎやん、でもみんなめっちゃ買うやん。ほんで、そんな人ほど為替とか株を自分で取引するなんて怖い危ない！言うてるみたいな。そんなもう話通じひんレベルの人が世の中にいっぱいあって、まじかよこの国オワタってかんじやけどさ(笑)

伊藤　：(笑)

玉井　：そう。だから、困る人がいるわけよ。金融の知識をつけられたら。なんで、アメリカとかイギリスはね、義務教育で投資を教わるのに、日本は義務教育で投資とか金融を一切やらないのかっていう。なんか熱く話してるけどさ、むしろ楽しんで稼ぐのはずるいことで、預金が正義で、継続的な安定収入が安心やって刷り込まれて、じゃあどう

なるのかっていう、従順な労働者が出来上がる、っていう。

伊藤　：まあ、そういうのは戦後の国の方針の名残ですもんね。確かに、その頃は正しくて、その結果日本が経済大国になれたわけなんですけど。

玉井　：そうそう。昔は、貯金してるだけで金増えた時代やから、でも今は完全に違うくて。でも、今だにさ、汗水たらして働いた稼ぎをさ、銀行に預けて、投資信託も買いますってろくに調べもせんと、銀行に勧められたやつ買って。んで、銀行は上がろうが下がろうが手数料で儲かるわけさ、ローンも組ませていただきます言うて、ローンで一軒家買うのが1つの成功の形みたいな。サザエさんの洗脳をされて、ほいでどえらい金利でどえらい値段の家買わされて、しばらくして住宅バブル弾けました、おわたーっていう、家なくなります、自己破産しますっていう(笑)

伊藤　：うわあ(笑)

玉井　：まじででもほんまにそうやん、リーマンショックんときに銀行が何をしてたかっていう、元凶誰ですかっていう。

伊藤　：あれはひどいですね、ほぼ詐欺でしょあれ(笑)

玉井　：そう。銀行が一番の詐欺業やってね、言う人も世の中にはいるけどさ、ぼくは言ってないですけどね、ぼく

はいつもお世話になっておりますけど(笑) まあね、話逸れまくってるけど、だから、個人が金融とか投資のリテラシーを上げることの重要性ってのは、自分でビジネスやっていこうって人なら尚更ね、勿論、トレード手法云々も大事やけど、経済とか金融の最低限の教養というか、教養ってほどでもないけど基礎的なことってのはしっかりふまえておくべきやと思うし、投資始めるにしてもさ。

伊藤　：そうですね。

玉井：で、別にこれ投資が怖いって言ってるんじゃないから。真逆やから、知識がないことってのがとても恐ろしい、ってことであって、ホラーなのであって、そこは絶対に勘違いしたらあかんくて。で、もうちょっと言うと、そんな個人が今、どんどん金融とか投資のリテラシー上がる方向に進んでるわけやん。仮想通貨の影響とかもあって、で、それ自体はめっちゃええことやねんけど。だからこそ注意しないとイケなくて、もし俺が詐欺師やったら。

伊藤　：ほうほう。

玉井　：これからの数年ってタイミングで思いっきり投資詐欺やると思うし、だってそんだけ多くの人が、無知な人が今までもってなかった「怪しい」って思ってた投資に興味持ち始めてるってことやから、それはカモる側の視点に立ったら、ボーナスステージやから(笑) カモネギやん(笑) 鴨がネギしょってきてるみたいなさ。

伊藤　：(笑)

玉井　：だからこそ、投資とか金融については、ちょっと話膨らんでもうてるけど、別にトレードの世界に足を踏み入れなくとも、やっぱり自己防衛として学んでいく必要があると思うし、自分でビジネスをやっていくなら尚更、投資の考え方とかって実践的なものとして。つまり、売上が上がるとか上手くいくとかそういう意味で学んだほうが良いと思うし。あとは、まとめに入ってるけど、個人的にめっちゃ良いたいことがあって、多分ドンピシャな人もいてると思うから、俺と似たタイプの人とかね。

伊藤　：なるほど。

玉井　：で、それがやっぱり、自分自身ほんとに痛感させられたことやねんけど。例えば、おれもさ、もうずっとネットビジネスをやってきたけど。で、それって個人で稼ぐっていうさ、パラダイムで生きてきたわけよね。で、まあネットビジネスもせどりも投資も全部一緒に、まあ個人で起業するっていう前提なわけやけど。それでその一、俺もそうやし今まで教えてきた人、生徒さんとかコンサル生とか含め、例えば、経済的にはまあまあ豊かになりましたと。「月何百万とか稼いでます」みたいなさ。で、月何百万が成功かっていうと人それぞれやけどさ。まあでも、一般的にはすごいとされるわけで。で、でもやっぱりこれくらいだったらさ、まあぶっちゃけイケるやん、やってたら。

伊藤　：いけますね。

玉井　：俺らの周りとか生徒さんとかにも結構おるやん。

伊藤　：そうですね。大学生で結構稼いでるって子とかも多いですよ、最近は。

玉井　：そうそう。別に簡単って言ってるわけじゃなくて。

伊藤　：もちろん。

玉井　：でも、まずはやっぱり、こういう音声もそうなんやけど、「このレベルやったらあなたが思ってるより全然いけるんやで？」っていうかさ、実際というか、感覚的なところ。いや、勿論努力はするけども、それを伝えたいというかさ。てか、なんかこういう業界の1つ気持ち悪いなあっておれがずっと思ってることがあって。それが、「月何百万と、年収何千万と稼いでます！しかもほぼ自動で！」みたいな人をさ、すごいありがたいというか崇拜するというか、あるやん？(笑)

伊藤　：なんなんですかね(笑)

玉井　：「すごいです！勉強になります！」みたいな「おめでとうございます！」みたいな、「お手本にさせていただきます」みたいな(笑)

伊藤　：あります(笑)

玉井　：その雰囲気すごい俺嫌いで。

伊藤：俺も嫌いっすわ。

玉井　：それやってもうたら、逆に遠ざかるやん、ゴールが。で、それは発信してる人間がそんなある種の神ブランディングをしてるからやと思うんやけどさ。でも、それしてしまうと、遠くなるやん。なんていうか、そこ階段10段ぐらいしかないのに、まるで100段あるかのように言いますやんみたいな(笑) ほんで、俺はむっちゃ努力して、もしくは才能があって、100段登りきったんですよ。みたいな。そういうこと直接は言わんけど、暗にそんな「私すごいですよ！」みたいな、「そんな私についてくればあなたも大丈夫ですよ！」みたいな興味付けをする、でもそれってブランディングはできてるけど、見てくれてる人の相手のセルフイメージ間接的に下げてるやんっていう。

伊藤　：そうなんですよ。

玉井　：まあ、そういう人が多いなあっていう、俺の見方ね？で、そういう雰囲気が苦手というか、だから俺の考え方としては真逆で、「いや、そんなたいしたことないで、いけるで」って俺らみたいな立場の人は、そうやからこそ、そう言い続けるべきやる！っていう考え方やから。そういう意味でね、まあ、ぶっちゃけ楽勝やねんけど、個人で起

業するだの、自分で飯食っていくだのなんて。でさ、その楽勝なプロセスを経たとしてさ、ちょっと先の話になるかもしれないけど、じゃあさっき言ったような「月100万200万稼げる」ってなったらなったで、今度、そこで悩む人が多くて。

伊藤　：あーなるほど。

玉井　：俺も勿論むちゃくちゃここで悩んだけど、「いやこれずっと続けていって何になるんやろう？」みたいな。まあ、ちょっとここをちゃんと伝えるのは時間かかるから、まあでもそういう時期って結構みんなあって。

伊藤　：そうですね。

玉井　：まあ、受験で言うところの燃え尽き症候群みたいな。次おれ何目指そうかなみたいな、自分の信念って何やる、向かいたい方向ってなんやるみたいな、そういう抽象的な悩みと向き合うタイミングってあって。で、その答えはいくつもあるんやけど、おれも個人的にはいくつも自分の内側に課題があったんやけど、その1つとして、こう、色々人と会う中で、経営者とか投資家とか、言ったら資産何百億もってますーとか年商何十億ですーみたいな人とか、その中でも人間的にリスペクト出来る人ね、と一緒に遊んだり飯食ったりしてる中で、気づいたことがあって、「あ、この人ら全然おれと視点が違うわ」っていう。つまり、おれがめっちゃめっちゃ低いわけよ当然やけど。

伊藤　：なるほど。

玉井　：ビジネスの話しても、全然視点高い、マーケティングを深く理解してるとか、っていうより、もちろん深く理解してるんやろうけどさ。なんていうかこれはもう体験しないと伝わらんことやけど、別に勉強ができるとかではなくて、感覚が違うんよね、生きてる感覚が。

言語化難しいけど、例えば、生きてる範囲が広いとか、ダイナミックとか、世の中の仕組み、客観的にシステムを理解してるというか、資本主義社会で前提でめっちゃおもしろそうに生きてるなあみきたいな。だからそういう人って、国際情勢とかさ、世界の動きってのがさ、普通に生きてたらあんま関係ないやん、そういう難しいニュースってさ、何か起こっても別に自分の日常にはほとんど影響せーへんし、だから言ったらちょっと他人事やし、なんなら新聞なんて読まないしっていう人も多いわけやし。でも、それが、その人達は自分の仕事とか日常とつながってて、もちろんだから常にウォッチしてて。で、知識、っていうかゲシュタルトがやっぱり圧倒的に違う、言ったら政治経済とか宗教とかさ、歴史もそうやし、地政学とか、もちろん金融とか法律とかも、そういう教養っていうのがあって。っていうか別に教養ですらなくて、もう実生活と絡んでるから。

伊藤　：たしかにたしかに。

玉井　：ほんとに必要な知識として武器として持ってるっていう。で、それを、「うわまじでそれや」ってドーン！って自覚したことがあって。で、純粹に「そういうのめっちゃかっこええやん！」って思ったんよね。だから、俺は投資始めたきっかけは、投資で稼ぐぜ！っていうよりも、もちろん、やるからには稼いだるぜっていうのはあったけど、次のステージとしてはそっちの世界にいきたいっていう。

で、そのためにはめっちゃ勉強せなあかんけど、じゃあそんな世界経済とかさ、世の中全体の仕組みとかさ、っていうのが自分にとって身近なものになる、手っ取り早い手段として、ツールととして、「あ、投資や」って思って、それがキッカケで始めたから。で、実際勉強していくと、まじでこの世界は、金融とか投資で動いてるから、だってニュース見たってさ、例えば新聞読んでもさ、ほとんどが金融と、あと安全保障と、テクノロジーの話やし。で、これって結局は「お金の動き」やから、むっちゃ当たり前やねんけど(笑)でも、例えば若者に人気の経営者とかさ、孫正義とかザッカーバーグとかさ、みんな知ってるような人気有名企業とかさ、投資で動いてるし、投資で稼いでるわけです。ソフトバンクなんて明らかに投資会社やし、マクドナルドだって不動産業なわけです、金融の世界で動いてるお金の単位って、京やから。全部の投資家、だから大手の金融機関とかだけじゃなくて、一般個人投資家とかも入れたら、その株とか債権って、単位はそれぞれ兆じゃないか

ら、お金に直したら。で、それって男の子とかはさ、単純にさ、アホやから「うわすげえ！」ってなるやん(笑)

伊藤　：なりますね(笑)

玉井　：で、その複雑な動きっていうのをシンプルに見れるようになりたい！ってなるやん。てか、なったわけよ。で、投資をやればそれが自分の利益と直結するわけでさ、むちゃむちゃ簡単なので言ったら、例えばじゃあ「中東で、ホルムズ海峡で軍事衝突があったよー」ってニュースがあったとして、今まではそれ他人事やったけど、トレードやってれば、「うわ原油上がるやん」とかさ。

伊藤　：そうですね。

玉井　：「あ、リスクオフになるー」ってなったら「円高やー」とかさ、じゃあ「日経は下がるー」とかさ。そういうのがめっちゃ面白いなーっていう、きっかけで始めたから、だからちょっと最後本編からはずれたけど(笑)俺と同じようなモチベーションで「うわ、まじでおれもそれやわ」って人もいると思うんでね。特にこれ聞いてくれてる、既にもう自営業でしっかり稼げてる人とかにはね、シンプルにおもしろいから勉強やろうぜ、しようぜっていう、ことですね。

そんなかんじで、かなり長い音声になったと思うけど、色々喋りすぎて最後まとめるんむずかしいけど。まあ、投資とか金融のリテラシーの話やったり、ICOとかICO詐欺と

かね、怪しい投資話についての話やったり、専業より兼業のほうがいいよーとかね、これから始めようか考えてる人にとって大事な視点とかね。まあ、色々語ってきたけど、個人投資家としての働き方とかその魅力っていうのにはしっかり迫れたかなと。プラス、その上で、ちゃんとこれから、自分でビジネスを作っていくとか、起業力、ビジネス力をつける、投資の場合は、個人で資産家になっていくっていう、もちろんトレードの世界は殺伐としてて厳しい世界やけど。

伊藤　：そうですね。

玉井　：その可能性というか、選択肢の1つとして、投資の世界に明るくならえてもらえたら、嬉しいですよ。実際にやっていく上で必要なマインドセットというか、ポイントってのもかなり喋ったと思うんで、書き起こしとかもあると思うんで、そういうのも使いながら、しっかり自分のものにしてもらいたいなと思います。

というわけで、ネットビジネス、せどり、投資と喋ってきたけど、まだまだね、色んな資料とかもっと具体的な話とかもコンテンツとして配っていくと思うので、そっちのほうもしっかり学んでもらって、知識を広げて、深めてもらえたら、

「こんなに自分の将来というか、未来って、広ーい世界が広がってるんや」

っていう、もちろん自分で何かを始めるっていう選択を取らないといけないけど、その選択を取れば、それに世界が広がってるんやっということが伝わったら、良かったかなと。思いますと。

伊藤　：はい。

玉井　：まあ、そんな感じで引き続き勉強していきましょうということですね。

伊藤　：そうですね。

玉井　：はいじゃあ、今回は以上ですね。ありがとうございました！

伊藤　：ありがとうございました！